

10月30日(土)

14:00開場 14:30開演

さいき城山桜ホール 大ホール

チケット：一般 1000円

19歳以下 500円

みんなの芸術祭
アートコザウルスの日に

佐伯市

まち・ひと・文化
トークショー

Special Guest

平田 オリザ (作家・芸術文化観光専門職大学学長)



1962年東京都生まれ。国際基督教大学に在学中、劇団「青年団」を旗揚げ。日常的な口語による劇作を「現代口語演劇」として理論化し、演劇界の大きな潮流を作る。1995年、『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞を受賞。演劇作品のほかに、コミュニケーション論を記した『わかりあえないことから』など、著書多数。現在、青年団の主宰の他2021年4月、兵庫県豊岡市に芸術文化と観光の二つの視点を生かし地域を元気にする人材を育成する「芸術文化観光専門職大学」を開学し、初代学長となる。

文化芸術の拠点施設となる「さいき城山桜ホール」が開館して1周年を迎えます。市では、平田オリザさん、常盤貴子さん等を招き、共生社会をテーマに、あらゆる人々が文化芸術を楽しみ、その暮らしにもたらす豊かさなどを語るトークショーを開催します。

Special Guest

常盤 貴子 (女優)



神奈川県出身。1991年女優デビュー。以後、ドラマ『愛していると言ってくれ』など数々の主役級を務め、「連ドラの女王」と呼ばれた。映画、舞台、ドラマなど多数に出演し、常に第一線で活躍し続ける。2004年第28回日本アカデミー賞 優秀主演女優賞(『赤い月』)受賞。2008年公開作品『釣りバカ日誌19』では物語の舞台となった佐伯出身の「河井波子役」として出演。2019年エッセイ集「まばたきのおもひで」出版。2020年映画『海辺の映画館—キネマのミ手箱』出演。2020年11月 佐伯市文化芸術フォーラムのパネリスト。

地域登壇者

山内 勇人



在宅支援クリニックがお 医師

病気があっても障がいがあっても、地域の中で必要とされ、役割を与えられ、感謝され、誰もが尊いひとりの人として生きることができるといふ素晴らしい地域づくりに医師として貢献したく、一般社団法人共生社会実現サポート「とんとんとん」を設立し、理事長を務めている。

松本 裕樹



アートコザウルス(みんなの芸術祭)実行委員長

障がい者施設「さつき園」に勤務して25年。利用者や職員と一緒に働き、一緒に学び、一緒に楽しみ、歩んでいます。中でもアートや音楽、フラダンスの活動を通して、地域との関わりが生まれ、今後もそうした活動を継続していければと思っています。更にみんなでワクワクするようなこと、探しています!

地域
コーディネーター

平田 大 (佐伯市文化芸術振興計画アドバイザー)



沖縄県出身。南島詩人、演出家、脚本家。2000年に「肝高の阿麻和利」の舞台演出を手掛け、地域の伝承や偉人に光をあてた「現代版組踊シリーズ」を県内はもとより東京国立劇場等でも展開。那覇市芸術監督、沖縄県文化観光スポーツ部長と、いずれも初代の就任経歴を持つ。

ダイナミック琉球、ミルクムナリ等の作詞者としても活躍。現在、佐伯と沖縄の舞台交流も展開中、新たなホールを拠点に益々の発展を期する。現在、演出を手掛ける新時代沖縄芸能エンターテインメント「レキオス! -ぼくたちの大航海-」ツアー中。

申込方法

完全予約制(全席指定:先着順)9月15日(水)~メール・電話で受付開始

- ◆ メール geijutsu-shinkou@city.saiki.lg.jp tel:0972-22-4529
*氏名・年齢・郵便番号・住所・連絡先電話番号をお知らせください
- ◆ 先着順に前列・中央部分からお席をご用意しますが、車椅子等の方はお申し出ください
- ◆ 申し込みはお一人様10枚までお申し込み可能です。(お席は選べません。ご了承ください)
- ◆ チケット代金は当日2F会場ホワイエにて13時より指定券と引き換えにお支払いください
詳細は予約者へご連絡いたします

主催:佐伯市役所 文化芸術交流課 文化芸術振興係 TEL0972-22-4529



予約申込書

お名前

/ 年齢 歳 / 電話番号

ご希望枚数 枚 / ご住所

メール・電話、もしくはこの用紙を切り取り、市役所2F文化芸術交流課へお持ちください

切り取り